



湯川中だより

NO. 15

発行日 令和4年1月11日(火)

発行者 校長 宮城 裕樹

まとめの3学期、4月への0学期 ～ 思いやり・感謝をカタチに ～

本年もどうぞよろしくお願いいたします

保護者の皆様、地域の皆様そして生徒の皆さんには、希望に満ちた新年をすこやかに迎えられたこととお喜び申し上げます。

また、昨年中は、本校の教育活動に対しまして温かなご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、3学期のスタートに際し、放送で以下の内容について話をしました。



<第3学期始業式 校長式辞より抜粋>

3学期は短いですが、学年のまとめをする大切な学期です。4月から良いスタートを切るための0学期とも言われます。3年生にとっては、進路実現のラストスパートであり、「期待」される高校生となるための、2年生にとっては、「尊敬」される湯中のリーダーとなるための、1年生にとっては、「信頼」される先輩となるための、とても大切な学期です。

そこで、この3学期、皆さんに頑張ってほしいことをふたつお話しします。

ひとつ目は、「自ら学ぶ・働く」とことん極めることです。2学期は、皆さんの大きな成長が見られた素晴らしい学期でした。しかし、「このぐらいで大丈夫だ」と考えずに、3学期は更に上を目指して挑戦することを期待しています。

ふたつ目は、「思いやり・感謝をカタチにする」ことです。「きちんとあいさつをする」、「掃除や整理整頓を細部まで行う」、「これまで以上に勉強や部活動を頑張る」など皆さんの姿によって、感謝の気持ちを表してください。「ありがとうございます」「おかげさまで今の自分があります」「これからもっと頑張ります」という姿にあふれる3学期となることを期待しています。

1年のはじめにしっかりと目標を立て、高みを目指してみんなで頑張りましょう。ますます寒くなりますが、寒さに負けず、健康でエネルギーあふれる3学期になることを願っています。

いよいよ高校入試がスタートしました

時が経つのは早いもので、1月7日より私立高校の入試がスタートしました。3年生にとってはまさに正念場を迎えようとしています。入試では、誰の助けも借りることができない緊張する場面で、中学校での努力の成果が発揮できるかどうかを試されます。進路実現に向け、面接指導や補充学習にそれぞれが努力しているところですが、自分の道を自分が切り拓く気持ちで、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

「一生懸命だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言い訳が出る。」

これは、甲州(山梨県)の武将、武田信玄の有名な言葉です。「湯川中で頑張ったことは何ですか?」「この1年で学んだこと、培ったことは何ですか?」と聞かれた時、堂々と、具体的に答えることのできる自分を、集大成となる今、是非創り上げてほしいと願っています。

新型コロナウイルス感染防止にご協力をお願いします



(状況に応じて)
マスクの着用



手洗い・
手指衛生



出かける前に
体温測定



密閉は避ける



密接は避ける



密集は避ける

全国的に新型コロナウイルス感染者が急増している地域もあり、気を抜かず感染防止対策に取り組んでいかなければならないと感じております。放送による始業式では、「換気」「マスク着用」「手洗い・消毒」「密回避」を中心とした対策の徹底について、全校生に確認をしました。

冬場は、例年インフルエンザや感染性胃腸炎などの流行も心配される時期です。ご家庭でも、引き続き基本的な感染防止対策や毎朝の検温・健康観察等へのご協力をお願いいたします。